

# 生命地域妙高環境会議事業 (ライチョウ保護対策事業)



## 総事業費

7,360千円

## 寄附目標額

1,500千円

## 数値目標

・火打山山塊に生息するライチョウの確認数  
24羽以上  
※令和元年度確認数の維持及び増加

## 最小個体数の「火打山のライチョウ」の未来を守るプロジェクト

国の天然記念物に指定され、絶滅危惧種でもあるニホンライチョウの中で、最も北に生息し最小の個体群である「火打山のライチョウ」は、気候変動によりエサとなる高山植物の植生が衰退するなど、その生息環境が悪化し、絶滅の危機が迫っています。

令和元年度の調査結果では、その生息数はわずか24羽のみとなっています。  
この「火打山のライチョウ」を守るための取り組みを行っていきます。

### 重点的な取組

#### (1) 火打山ライチョウ生息環境保全事業

近年、地球温暖化による気候変動などの影響で、背の高いイネ科植物が繁茂し、ライチョウのエサとなるコケモモなどが衰退していることから、環境省や専門家を含めたチームと連携して、このイネ科植物の除去活動を実施。

#### (2) 火打山ライチョウ個体群生態調査事業

ライチョウの繁殖期と非繁殖期における個体数と生息域を調査しその生態を明らかにします。また、ライチョウの生息環境に大きな負の影響を与えることが懸念される、シカやイノシシの火打山への侵入状況を把握するとともに、ライチョウの捕食者となりうる種を確認するため、ライチョウの生息域にセンサーカメラを設置するなどの調査を実施。